

## 港区学校情報化アクションプラン策定支援業務委託事業候補者の選考方法

### 1 一次審査における選考方法【書類審査】

- (1) 各委員による採点（委員1人の最高点数は **200点**）  
※一部、事務局採点項目あり
- (2) 委員6人分の評価点を合計（最高点数は200点×6人=1,200点）
- (3) 「区内事業者との共同」を満たす場合、合計評価点の5%を加点  
（例）600点の場合、30点を加点し630点
- (4) 委員会で協議のうえ、一次審査合格者を決定（3者程度）

**応募事業者が1者の場合、合計点の6割（720点）を最低基準とし、得点が6割に満たない場合は再公募とします。**

【評価基準】 ①審査項目ごとに **5段階評価（一部、3段階評価あり）**

②項目ごとに配点に評価割合を乗じて評価点を算出

- ・配点10の項目・・・2倍（例）4評価→ $4 \times 2 = 8$ 点
- ・配点15の項目・・・3倍
- ・配点20の項目・・・4倍
- ・配点30の項目・・・6倍
- ・配点35の項目・・・7倍

### 2 二次審査における選考方法【プレゼンテーション及び質疑応答】

- (1) 各事業者のプレゼン及び質疑応答が終了後、委員会審議を行い、各委員が採点（委員1人の最高点数は **100点**）  
※プレゼン15分・質疑応答20分を予定
- (2) 一次審査の点数と二次審査の点数を合計し、総合点数とする  
（最高点数は1,260点+100点×6人=**1,860点**）
- (3) 委員会で協議のうえ、事業候補者と次点者を決定

【評価基準】 審査項目ごとに **5段階評価**

#### <一次審査・二次審査の評価点数（満点）>

	委員採点（×6人）	区内事業者（5%）	合計
一次審査	1,200	60	1,260
二次審査	600	—	600
総合点数			1,860

(一次審査項目・配点)

【※】は事務局採点項目

No.	評価項目	評価の視点	配点
1	事業実績【※】 (様式6)	類似業務に関する経験・実績が豊富か。	20
2	業務の実施体制【※】 (様式7)	(1)人数の配置計画は十分か。	10
		(2)社内補助者等によるバックアップを見込めるか。	5
		(3)統括責任者が現在従事している業務に対し、本業務の専務割合は十分なものか。	5
		(4)実務担当者が現在従事している業務に対し、本業務の専務割合は十分なものか。	5
3	実務担当者等の経歴 (様式8)	(1)管理監督者の職歴及び業務経歴は、本業務に十分なものか。	5
		(2)統括責任者の職歴及び業務経歴は、本業務に十分なものか。	5
		(3)実務担当者の職歴及び業務経歴は、本業務に十分なものか。	10
	【※】	(4)統括責任者及び実務担当者の資格取得について	10
4	提案内容 (様式9-1、9-2、9-3)	9-1 ・港区の学校教育の情報化の現状について正確に理解しているか。 ・上記の現状を踏まえた上で、目指す方向性が記載されているか。	30
		9-2 ・港区の現状や特性、課題を正確に捉えているか。 ・現行の計画を正確に捉えているか。 ・国等の動向を的確にとらえ反映しているか。 ・次期計画の重点項目としてふさわしいものになっているか。	35
		9-3 ・施策の内容や手法が具体的に示されているか。 ・具体的施策に実現性があるか。	35
5	見積額【※】	見積額は事業規模額と比べて妥当か。	15
6	ワーク・ライフ・バランスの推進【※】	次のいずれかの認定を受けているか。 ①港区ワーク・ライフ・バランス推進企業 ②東京ワークライフバランス認定企業 ③くるみん認定、プラチナくるみん認定	10
計			200

(二次審査項目・配点)

No.	評価項目	評価の視点	配点
1	取組姿勢	当該業務に対する積極性、最後まで誠実に業務を遂行する姿勢を有していると感じられるか。	15
		プレゼンテーションの内容は論理的で分かりやすかったか。	15
		質問に対して的確に答えていたか。	10
2	提案内容	港区の状況や特性等を的確に捉えているか。	30
		将来を見据えた具体的且つ実現性のある提案となっているか。	30
<b>計</b>			<b>100</b>